

平成 23 年 4 月 1 日

各 位

会 社 名 セントケア・ホールディング株式会社

代表者名 代表取締役会長兼社長 村上 美晴

(J A S D A Q ・ コード番号 2 3 7 4)

問合せ先 常務取締役管理本部長 関根 竜哉

(TEL. 0 3 - 3 5 3 8 - 2 9 4 3)

東北地方太平洋沖地震による当社グループへの影響について（第 3 報）

平成23年 3 月13日付当社「東北地方太平洋沖地震による当社グループへの影響について」において、当社グループでの被害の発生について発表いたしました。新たに明らかになりました状況についてお知らせいたします。

記

1. お客様およびスタッフの状況について

当社においては地震発生直後の平成23年 3 月11日に対策本部を発足させ、被害が甚大であった東北地方沿岸地域で介護事業を行っていた連結子会社であるセントケア東北株式会社ならびにセントケア宮城株式会社（以下、「セントケア東北・宮城」とする。）におけるお客様および従業員の安否確認に注力してまいりました。

この結果、お客様3,231名および従業員664名の無事が確認できましたが、大変残念ながら平成23年 3 月31日現在、在宅介護サービスをご利用でご自宅等において被災されましたお客様28名および従業員 1 名がお亡くなりになったほか、宮城県沿岸部を中心とした 5 ヶ所の営業所について一部のお客様の安否が確認できておりません。また従業員 2 名についても安否が確認されておりません。

なお、震災当日においてセントケア東北・宮城の入居施設に入居されていたお客様にケガ等の被害はございませんでした。

被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

2. 営業拠点および建物施設等の状況について

(1) 施設系サービスについて

セントケア東北・宮城においては、2 ヶ所のグループホーム、9 ヶ所のデイサービス、および 1 ヶ所の小規模多機能型居宅介護の営業所がございます。

これらの施設の中には、震災の影響により一時避難を行った事業所もございましたが、本日現在すべての施設が復旧し、サービスを再開いたしました。一部施設に修繕が必要な破損等が残っているものの、建物自体の安全性には問題はなく、震災以前と変わらないサービスをご提供してまいります。

また3ヶ所の介護施設においては、定員を超えて被災されたお客様を受け入れております。引き続きお客様が安心して生活ができる環境を提供するとともに、新たな生活基盤構築へ協力してまいります。

※ 平成23年3月15日付、当社開示「東北地方太平洋沖地震による当社グループへの影響について（続報）」の中でお知らせした、若林営業所、若林デイサービスセンター、ホーム北根黒松につきましては、その後の現地確認および専門家による建物検査の結果、使用が継続できることが明らかになり、現時点では事業を再開しました。

(2) 訪問系サービスについて

セントケア東北・宮城において、しづがわ営業所（南三陸町：訪問介護）が津波により全壊したほか、けせんぬま営業所（気仙沼市：訪問介護）、石巻東営業所（石巻市：訪問介護）および泉中央営業所（仙台市泉区：訪問介護、居宅介護支援）ならびにセントケア茨城株式会社の石岡営業所（石岡市：訪問介護）について建物の損傷がひどく、今後事務所として使用することが難しい状態です。これらの営業所については、被害の少なかった隣接の営業所に拠点を移し、介護ニーズの高いお客様を中心にサービスの提供を継続しております。

また、その他の訪問系サービス35拠点（宮城県、茨城県合計）における被害は軽微であり、電力等のライフラインの復旧に伴い、全ての営業所においてサービスを再開しております。その一方で、ガソリン不足や依然として避難所での生活を余儀なくされている従業員がある影響から、震災以前と同様な稼働には至っていない状況です。

一日も早く従業員の生活基盤を再建するため、日常生活物資や住居の支援ならびにメンタルサポートなど様々な支援を積極的に進め、従前どおりのサービス提供が可能な体制を構築してまいります。

3. 当社グループの取り組みについて

平成23年3月23日、当社代表取締役ならびにセントケア東北・宮城の代表取締役を中心として、「復興プロジェクト」をスタートさせました。前述の通り、被災者の救援・復旧はもちろんのこと、お客様と従業員の生活基盤の確立と支援を通じて、さらなる東北地域の復興を目指した事業計画を策定してまいります。

4. 業績に与える影響について

平成23年3月15日付、当社開示「東北地方太平洋沖地震による当社グループへの影響について（続報）」の中でお知らせした内容から変更はございません。

当社グループの当期連結業績に与える影響につきましては、今後状況が明らかになり次第発表いたします。

以 上